

平成26年度  
安全管理優良受注者

平成25年度完成工事  
関川河道維持掘削外工事

高田河川国道事務所



相村建設株式会社

# 1.完成工事の概要

## 河川維持

### ○河道掘削

- 住吉町工区 V=18,400m<sup>3</sup>
- 鴨島工区 V=14,700m<sup>3</sup>
- 鴨島下流工区 V=1,600m<sup>3</sup>
- 東城町工区 V=5,500m<sup>3</sup>

### ○低水護岸工

- 藤野新田工区 L=56m

### ○管理用通路舗装工

- 春日山橋左岸工区 A=1,070m<sup>2</sup>
- 春日山橋右岸工区 A=1,600m<sup>2</sup>
- 中央橋左岸工区 A=1,040m<sup>2</sup>
- 中央橋右岸工区 A=1,260m<sup>2</sup>

### ○高水敷整正工

- 伐木 A=7,500m<sup>2</sup>

### ○水防資材備蓄工

- 大型土のう工 600袋

### ○仮設工

- 仮設工 N=1式

【河道掘削】掘削・土砂運搬



【低水護岸工】大型連節ブロック吊落し



【管理用通路舗装工】アスファルト舗装



【高水敷整正工】伐木・集積運搬



# 2.社内安全管理体制

《労働安全衛生マネジメント:OHSAS18001に沿ったリスク低減活動》



着手前に現場代理人が現場のリスク評価を行い、施工検討会実施時において統括安全衛生管理者、安全管理者、担当部長、現場代理人で評価の妥当性を再確認し、労働安全衛生目標を決定する。



## 《安全衛生パトロールの実施（毎月）》



安全衛生パトロールの実施にあたり、現場の状況をよりイメージしやすいよう、パトロール前に現場状況写真にて危険のポイントを確認して、パトロールを実施する。



安全衛生パトロール終了後、各班で検討会を実施し、デジカメで撮影した是正箇所、良かった点をプロジェクターで表示、説明する事で点検結果の共有化を図っている。

### ■安全衛生パトロール結果の点数化

	現場代理人 (1)		パトロール員 (2)		
	良(1点)	不良(-1点)	良(1点)	普通(0点)	重大不良(-2点)
各評点個数	71	3	67	7	0
各評点換算	71	-3	67	-3.5	0
評点合計 (1)	68 点		63.5 点		
現場代理人 総合評点	現場代理人評点 (1) 68 点 該当項目数 74 個		$68 \div 74 \times 100 =$ <b>92</b> 点		
パトロール員 総合評点	パトロール員評点 (2) 63.5 点 該当項目数 74 個		$63.5 \div 74 \times 100 +$ <b>0</b> = <b>85</b> 点		
【総合評価】	(優秀) …… 100点“満点” (優良) …… 85点以上100点未満 (普通) …… 70点以上85点未満 (注意) …… 60点以上70点未満 (作業中止) …… 60点未満 <small>※(作業中止)となった場合は、是正後に作業再開とする。 ※小数点は切り捨てとする。</small>				
<b>優良</b>					

(現場安全度合いの見える化)

### 《パトロールのダブルチェック》

パトロール前、事前に現場代理人が自現場を点検項目に沿って点検し、是正箇所の改善を行い評点化する。



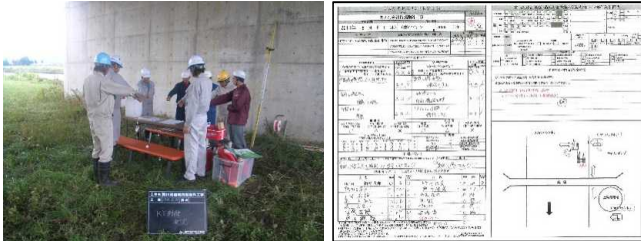
当日、安全衛生パトロールの点検者が現場を点検するパトロールのダブルチェック制度を実施し、リスク低減を複合的な視点で確認している。

《主な活動》 安全衛生パトロール・安全管理者パトロール・安全環境担当パトロール・安全衛生委員会(毎月)、施工検討会(着手前)

# 3.工事現場における日々の安全活動

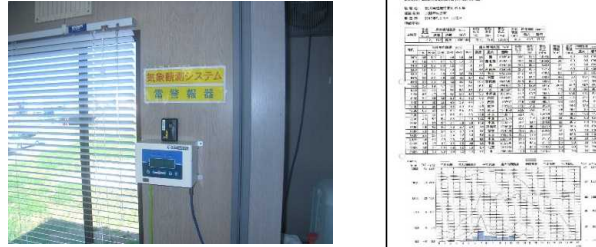
## 《 KY活動・重機作業計画の確認 》

- ・リスク評価を用いたリスクアセスメントKY活動による危険源の排除。
- ・重機作業計画書に基づく、作業方法及び安全対策の確認。



## 《 6要素 気象観測 》

- ・異常気象時においてリアルタイムに情報を得れる事で作業中止決定を迅速に行う事ができた。



## 《 フロート感知式水位計の設置 》

- ・水位上昇による作業中止を明確に周知できるよう、警報器連動型（赤色回転灯・サイレン）のフロート感知式水位計を設置した。



## 《 車両重量計による過積載防止対策 》

- ・車両重量計により車両総重量の計測、確認を行い重機オペレーターへの指示・伝達を行い過積載防止に努めた。



## 《 ハザードマップの掲示 》

- ・運搬経路上の注意箇所を明記したハザードマップを運転席に掲示し土砂運搬時における交通事故防止に努めた。



## 《 ゲートセンサー設置による出入口対策 》

- ・工事用車両出入口において、ゲートセンサーによる音声案内を行う事で通行する歩行者に対し注意を呼びかけた。



## 《 熱中症対策 》

- ・夏期における熱中症災害防止を重点目標のひとつに掲げ、休憩施設及び対策用品の完備、また常時熱中症計携帯（職員・職長）によるWBGT値の把握並び現場巡視による作業員個々の体調確認を実施し、熱中症災害の防止に努めた。

【 柵下を利用した休憩施設 】



【 熱中症対策掲示板の設置 】



【 熱中症対策用品の配布 】



【 緊急用常備品 】



【 飲料水・経口補給液等の完備 】



【 熱中症計の携帯 】



# 4.安全教育の充実

## 【会社での安全教育に対する主な取り組み】

### 安全大会の実施(毎年6月)

- ・全社員及び協力業者が参加し、安全意識の高揚を図る。安全衛生活動による分析結果を基に弱点を克服すべく専門講師を招き教育を行っている。



### 熱中症予防教育の実施(毎年6月)

- ・熱中症災害を防止する為、社員及び協力業者が参加し外部講師の基、熱中症に対する知識を教育している。



### 冬期間事故防止教育の実施(毎年1月)

- ・冬期間における事故を防止する為、社員及び協力業者が参加し外部講師の基、事故防止に対する知識を教育している。



## 【現場での安全教育・訓練(毎月)】

- ・月別安全衛生管理計画を基に、作業工程に沿った労働安全衛生に対する知識の向上を図った。視聴覚教育の他、実戦訓練として避難訓練・KY活動・重機死角確認・ヒヤリハット体験等を行った。

### ○救命浮環投入訓練



### ○AED取扱い・操作手順

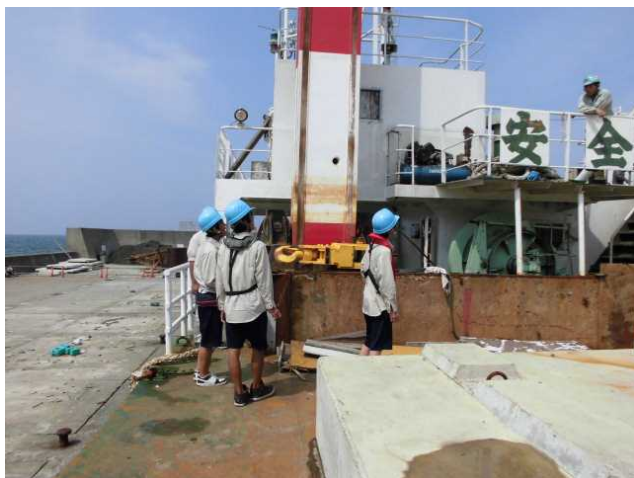


### ○クレーン合図方法



## 5.その他顕著な活動

【職場体験学習(上越市内中学生 毎年8月)】



【インターシップ・デュアルシステム(上越市内高校生 毎年7月)】



【社員・家族による海の日(の)の海岸清掃(毎年7月)】



【上越警察署による交通安全講習会(毎年4月)】



○平成25年2月に上越署より優秀安全運転優良事業所として表彰を受ける。

【社員・協力会にて献血の実施(毎年4月 当社創立記念日)】



○平成22年7月に日本赤十字社新潟支部様より献血功労に対する感謝状を頂く。

【東日本大震災被災地への復興支援(平成24年4月より)】



○岩手県大船渡市、宮城県石巻市